

NPO 法人日本交流分析協会北陸支部研修会 「論文の書き方・査読の仕方研修会ご案内」

このたび論文の書き方研修会を開催します。論文を書くことは、交流分析の深耕と実践を促進して、上級資格の取得にも繋がり、輝かしい未来が開かれます。

「心理学系論文の書き方ガイドブック」(2010 当協会発行)(添削を当日配布。当日格安販売も)を使用して、論文の必須条項であるオリジナリティの書き方、方法は現在形で「再現性」を、結果は分かった、考えると書かないで過去形で「であった」と書く、考察は現在形で「考えられる」と書く…等の勘どころを学習します。未完成論文、収集データ、報告書…がある人は持参して下さい。個別指導を行います。査読の仕方は、当協会論文集「TA 実践研究」2013.Vol.3を教材(叩き台)として使用し、査読の仕方の勘どころを学習し、併せて論文の書き方のレベルアップに繋がります。

日時

平成26年12月21日(日)10:00~16:50

会場

サンシップとやま703号室
富山市安住町 5-21 076-432-6141

内容

『論文の書き方・査読の仕方研修会』

講師

飯田 國彦 NPO 法人日本交流分析協会理事・北陸支部長

略歴:日本交流分析協会理事長、教育研究所長、教授会長、資格認定委員長、教材・心理カウンセラー・論文審査委員長を歴任。当協会第1回懸賞論文最優秀賞受賞。大学院・企業・協会等で40年余に亘って論文の書き方、査読の仕方の指導に当たり、多くの受講生らを合格に導いた。特に論文の枠組を決めて、その中に埋めていく方式(プロット方式)は、初心者でも分かり易く、書き易いと定評がある。

参加費

参加資格:1級交流分析士以上「事前申し込み」:2,800円,
「締め切り後の申し込みおよび当日参加」 :3,800円
申し込み締切日 12月11日

申込み

北陸支部事務局に FAX もしくは E-mail でお申込みください。

E-mail の場合: ta_hokuriku@plum.plala.or.jp

FAX:076-494-3181

氏名	会員 No.	
連絡先	携帯:	TEL・FAX
	E-mail	